

次世代 エネルギーと商社

Special Feature : Next-Generation Energy and SHOSHA

2025年2月、政府は「第7次エネルギー基本計画」を閣議決定しました。日本が掲げる2050年カーボンニュートラルの実現に向け、2040年を視野に据えた中長期的なエネルギー戦略を示すもので、エネルギーの安定供給、経済成長、脱炭素という三位一体の目標実現に向けた道筋を提示しています。

単なる次世代エネルギー関連技術の導入プロセスだけでなく、国内外の多様なステークホルダーとの「信頼をつくる力」が問われるこの時代において、商社は、かねてからエネルギー資源の調達やサプライチェーンを担ってきた存在として、グローバルなビジネスを展開してきた総合力をいかに発揮しています。

本特集では、前後半の二本立てで「次世代エネルギーのいま」に迫ります。前半は、第7次エネルギー基本計画について、資源エネルギー庁の小高戦略企画室長よりご寄稿をいただきました。後半のコラムでは、次世代エネルギーに関連した各社の取り組み事例をご紹介します。

本特集が、これからのエネルギー問題を考えるにあたって皆さまの参考となれば幸いです。